

# 「3・11いわて教会ネットワーク」ニュース

Vol.4 2011年4月24日



## 宮古ベースでの夜

宮古における拠点となった旅館の一室で、被災地に駆けつけて下さった支援チームが語り合っています。暗闇の中にランプを灯しながら。その後、2、3階部分の電気が回復し、旅館もだいぶ快適になりました。

## 「子どもと遊び隊」の派遣

宮古、田老地区の避難所へ「子どもと遊び隊」の派遣が継続中。子どもたちの心のケアはこれからも大きな課題です。これから被災地の復興を担っていく子どもたちのためにお祈り下さい。(裏面記事参照)



## 「温泉プロジェクト」始動

山田町の避難所で生活する60歳以上の方々を北上市内の温泉に招待する「温泉プロジェクト」が始動。温泉と食事をゆっくり楽しんでいただきました。(裏面記事参照)

## 被災地に春

長く厳しい冬でした。3月11日以降は、さらに厳しい日々が続きました。しかし、今年も春はやって来ます！



## 被災地支援活動報告

### 4月14日(木) 宮古

週に2回の避難所での「子どもと遊び隊」。宮古・盛岡からの通常メンバーに加え、最近の活動には、遠方より支援に駆けつけて下さった短期ボランティアの方々もその都度参加します。一昨日(12日)の遊び隊には、同盟基督教団チームの関西や広島からの青年たちも参加したのですが…。

午前～午後、楽しく過ごしたその後で、別れが近づくその時間、1人の男の子が問いかけたそうです。また来てくれるの?…答えにつまったその様子を見て、発した言葉は (僕のこと) 忘れないでね…。

少年の言葉に私の思いも重ねます。やがて世の関心は移り、薄れて行くかも知れません。でも、皆さんが訪れて下さったこの地の「今」を、皆さんが出会い仕えた傷んだ方々を、皆さんがこの地で主に向かって祈って下さったその祈りを、どうぞ忘れないでください。(近藤愛哉)

### 4月15日(金) 山田

第1回温泉プロジェクトのために山田町に向かいました。皆さんを宿に連れ、温泉と食事を楽しんで頂き、それぞれの物語ともいべき被災体験から様々なお話を聴かせていただきました。もしかして残酷なことをしているのではないかという恐れもありましたが、皆さんの笑顔や留守番をしている方々へのお土産を品定めしている姿を見て「やって良かった」「可能な限り続けよう」と思わされました。

また企画して下さった北上の N さんが山田町には教会がないという話を聞いて「山田は宮古と釜石の間にあって、陸の孤島なんて言われたりする。だから教会も来ないんだなあ」「山田に教会作ってよ。おれが牧師になるからさあ」と冗談半分で言ってくれました。冗談半分でも嬉しかったです。そして、関わり始めた事柄の大きさに改めて襟を正される思いがしました。(佐々木真輝)

#### この1週間ほどの間で実施された主な支援活動

- ・ 山田町の避難所に避難している方々への「温泉プロジェクト」(北上聖書バプテスト教会)
- ・ 田老地区の孤立集落への新鮮野菜等の配達 (OMF、宮古コミュニティチャーチ、盛岡聖書バプテスト教会、東京・ぶどうの樹キリスト教会)
- ・ 田老地区における炊き出し、お弁当の配達 (盛岡聖書バプテスト教会、同盟基督教団、秋田諸教会、盛岡みなみ教会)
- ・ 宮古・田老地区への「子どもと遊び隊」の派遣 (宮古コミュニティチャーチ、盛岡聖書バプテスト教会、IBF、岩手大学生たち)
- ・ 宮古・磯鶏藤原地区での清掃作業、田老・大槌・釜石への物資搬入。(盛岡みなみ教会、同盟基督教団、IBF、3・11 あおもり教会ネットワーク、盛岡聖書バプテスト教会)
- ・ 大槌でのボランティア活動 (3・11 あおもり教会ネットワーク)
- ・ 大船渡聖書バプテスト教会の再建工事 (北上聖書バプテスト教会)